

## ユーラシアにおける移動・交流と社会・文化変容

新免 康 編著

2021年3月1日発行

中央大学出版部 発行

本体価格 3,700円(税別)

序文		
第Ⅰ部 現代における政治情勢と社会変動		
第1章	内戦と文化政策 —1980年代カンブチア人民共和国の「文化財保護法」の分析を中心に—	高橋 宏明
第2章	中国—中央アジア関係にみる安全保障 経済開発のネクサス—新疆の反テロ政策を事例として—	田中 周
第3章	上海の老猫と尺八の青年 —コロナと恐怖、そしてわかり合えない中国・香港・台湾のこと—	山田 泰司
第Ⅱ部 近代における移動・交流と社会・文化変容		
第4章	小説の中の白系ロシア人と日本人との結婚—「満州国」の枠組みの中で—	伊賀上 菜穂
第5章	極東と新疆へのテュルク・タタール系移住者による1920～40年代の教科書出版 —比較から浮かび上がる特徴—	ディリャーラ・ウスマノヴァ (濱本真実 訳)
第Ⅲ部 政治と文化の歴史的諸相		
第6章	新疆ホタンにおける清軍の到来と有力者の対応 —ジャハーンギールの侵入事件(1826～1827年)におけるホタンのベクや アホンの動向を中心として—	河野 敦史
第7章	中国新疆のイリ地域におけるウイグル族の「歴史歌謡」について	新免 康